



教えて!JA

農業に関する質問にお答えします!

ワンポイントアドバイス

病害虫の防除は
定期的に行いましょう!



大津南宮農経済センター
施設販売課
石川 滝暁

種を使用することも覚えておきましょう。未熟な堆肥を施用したり、基肥に有機質肥料を入れすぎたりすると、発芽後にタネバエやユスリカの幼虫の被害を受けやすいので注意しましょう。雑草の混入を防止するため、ほ場の準備から収穫までの間の除草管理は徹底します。降雪地帯では冬季の露地栽培は出来ないためご注意ください。ハウス栽培で収穫を早めたい場合は、草丈30cmの頃までは、昼間はハウスサイドを閉め気味にし、夜間は解放する管理を行いましょう。30cm以降は、葉色低下の防止のため昼間も開放しましょう。



ハウレンソウの栽培

A

初夏どりのハウレンソウは晩抽性の品種を栽培しましょう。また、べと病に抵抗性のある品種を使用しましょう。

Q

ハウレンソウを栽培したいので、注意点などを教えてください。

ワンポイントアドバイス

3回目の追肥が遅れると貯蔵中に腐りやすくなります。遅くとも3月中には行いましょう。



大津南宮農経済センター
施設販売課
瀬津 公平

土壌では生育が悪くなります。石灰資材で必ず酸度矯正を行ってください(目標pHは6.5以上です)。12月下旬、2月下旬、3月下旬の3回に分けて追肥を施しましょう。肥料を過剰にやりすぎたり、遅効きになると病気の発生や腐敗で貯蔵性が悪くなります。また、肥大初期の肥切れは、とう立ちの原因となるためご注意ください。べと病やさび病の防除の徹底も重要です。特に冬から春にかけて温暖多雨の条件下で多発するので、予防防除は必ず行いましょう。また、べと病が年内に発病した株や越冬株に発病がみられた場合は、ただちに抜き取り、畑から持ち出します。



タマネギの栽培

A

収穫期に水はけの悪い所では腐敗が多くなるので、排水対策を徹底しましょう。また、酸性

Q

タマネギの植え付けが終わったのですが、この後の注意点やアドバイスが欲しいです。